


本時の学習（見通し3）（10/11）

- ねらい 草津町についての関連付けた追究結果を基に、自分なりの見方・考え方を取り入れながら草津町の将来像を考える。
- 準備 教師 学習プリント（「こんな草津町になってほしいな わたしの考えた将来の草津町」）  
このプリントを後で取材先へ郵送する。
- 展開

学習活動	時間	学習への支援及び留意点	評価
1 本時の学習活動を確認する。	10	○旅行会社のアンケート結果などを示す中で、草津町が観光名所として上位にランクされていることを示し、草津は全国的な観光地となっていることを挙げ、群馬県のよいイメージとつながっていることをとらえられるようにする。	
<b>将来、草津はどんな町になってほしいか自分の考えを絵や文で表そう！</b>			
2 将来、草津はどんな町になってほしいか自分の考えをまとめる。  (8ツ切画用紙を使用)	30	○自分たちで調べた草津町の様々な特色となる社会的事象の名前を画用紙に書いて黒板に貼る。その中で、関連付けた追究結果を思い起こせるようにする。 ○よい面ばかりではなく、悪い面やうまくいっていない面（スキー客の減少、宿泊客の減少、共同浴場のマナー悪化、温泉成分による金属腐食など）も想起できるようにし、どうすればよりよい方向に進むかアイデアを出す場面を作っていく。 ○文章でうまく表現できない場合は、絵だけで表現してもよいこととする。 ○なかなか考えをまとめられない児童には、黒板に貼りたいいくつかの画用紙の中から自分の気に入ったものを二つ三つ選んで考えるように支援する。	イ②（思考・判断） 草津町に住む人々は自然環境や温泉を生かして生活を工夫していることを考え、適切に判断しているかどうかを、草津町の将来像に、これまで学んだ草津町の様々な特色（面）をどれだけ取り入れてあるかどうか、それらをどのように結び付けているかを分析することによって評価する。
3 本時の学習を自己評価する。 ・次時は仲間同士で紹介し合うことを知る。	5	○自分なりに考えた草津町の将来像に、今まで学習してきた草津町についての関連付けた知識をどのくらい、またどのように取り入れて考えられたかという観点で自己評価する。	

作品例

（八つ切画用紙1枚を袋とじにして使用）

